

第22回運営委員会の協議状況

日時 平成17年5月13日(金)19:10~21:00

場所 いたみホール 会議室3

出席者 (委員)松本(誠)、川谷、長峯、岡田、佐々木、中川
奥西、畑、村岡、伊藤、岡、加藤、酒井、田村、土谷、山仲
(河川管理者)田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(事務局)黒田、前田、植田

内容(協議結果)

次の協議結果を次回流域委員会に報告、提案する。

1 ワーキンググループの進め方

(1) アンケート調査の実施

課題や事例を収集するため、環境WGとまちづくりWGが共同でアンケート調査を行う。アンケートの内容は、環境WGとまちづくりWGの内容の統一、整合を図り、次回運営委員会(5月23日)までに整理し、再度協議する。

アンケート用紙は、流域委員会メンバーのほか委員会の傍聴者、リバーミーティングの出席者にも配布する。県の武庫川にかかわっている職員や流域自治体の関係職員にも配布する。また、ホームページにも掲載し、5月24日開催予定の「武庫川流域環境保全協議会(事務局:阪神北県民局環境課)が主催する講演会」にもアンケート用紙を配付する。

森林・農地WGは課題が整理できているので、アンケート調査は実施しない。別途、事例や根拠を集めるものとし、今後、具体的な作業内容を検討する。

(主な意見)

- ・ アンケートは広げすぎると整理が大変である。
- ・ アンケート様式はまとめることを念頭においた形式にした方がよいのではないか。
- ・ アンケートの前段に趣旨を書いたペーパーが必要である。
- ・ 全てのワーキンググループでアンケートを実施する必要はない。

(2) 検討項目等の整理

「WGの進め方の検討項目別一覧表」の各WG検討項目を絞り込み、ランク付けを行う等再整理をするとともに、項目Bと項目Cの課題が相互にバッティングするクロス表を各WGで作成し、次回の運営委員会(5月23日)で協議する。

(主な意見)

- ・ 「WGの進め方の検討項目別一覧表」の日常のつきあい、防ぐ、逃げる、あきらめるを別々の表で整理して、具体例などを書き込んでどうか。
- ・ 毎回、何かのテーマを決めてワーキングをやってみてはどうか。

2 治水計画の詳細検討(流出解析、流出予測)(継続)

次回流域委員会(5月23日)までに、流出解析ワーキングチームで整理した流出予測等の一覧表を提示し、委員から意見を出してもらう。

上記の整理を行うため、流出解析ワーキングチーム会議を次のとおり開催する。

- ・ 第6回 5月17日(火)18:00~
- ・ 第7回 5月23日(月)13:30~

(主な意見)

- ・ 市街化区域が全て住宅になる訳ではないはず。
- ・ 現在のモデルは市街化区域が全て市街化されたと仮定して計算している。
- ・ 計画論で現在使える数値を使って、より安全側に沿った考え方に立つのかどうかである。
- ・ 流域委員会において住民から分散型モデルを使用すべきとの意見書があったが、分散型は、武庫川に使える状況ではない。
- ・ 流域委員会で決めずに、流出解析ワーキングチームで決定して欲しい。
- ・ 流出解析ワーキングチームは、流域委員会での判断材料を準備するところである。

3 その他

(1) リバーサイド住宅地区及び武田尾地区の河川改修計画について

本改修計画は、既存計画であるため、本委員会とは別途進めるべきであるが、その取り扱いについて、次回運営委員会で再度協議する。

(2) 傍聴者に対する意見について

傍聴者の発言の中で、誤解に基づくものや事実関係での誤りがある部分については、次回流域委員会で説明及び是正する。

(3) ニュースレター

本日承認された審議経過報告についてニュースレターを発行し、掲載する。

(4) 次回の運営委員会の日程

5月23日(月)18:00から、ソリオホール(宝塚市)で開催する。